

**第56回  
全国女性のつどい in 北海道**

[日 時] 6月22日(土) 午後1時~(予定)  
6月23日(日)

[会 場] かでる2.7  
(札幌市中央区北2条西7丁目)

●1日目●  
基調講演: 元五輪カーリング日本代表 小笠原歩さん  
~分科会~交流会

●2日目● 北海道満喫バスツアー  
①夕張 メロンと炭鉱のまち  
②「そだね～！」札幌市内観光ツアー

\* \* 航空券、宿の確保はお早めに... ! \* \*

梅雨のジメジメを吹き飛ばせ！  
皆様のご参加をお待ちしています

3月9日(土)、東京・民放連本部の会議室で、「民放労連女性協拡大常任委員会」が一八名の出席者により開催されました。

まず、各地連より、2018年末闘争の成果及び現状についての報告がありました。各地連代表者から、ハラスメント被害が起つた際の社内及び社外の相談窓口の各局の現状について、報告と活発な情報交換がなされました。

会議の後半は、伊藤詩織さん問題、武器輸出、軍学共同、森友・加計問題など、報道機関が担う「伝える」役割について、国連人権理事會の特別報告者の「日本の記者クラブ制度のもとで



拡大常任委員会開催

## 講演 望月衣塑子記者 & 女性協拡大常任委員会

3月9日(土)、東京・民放連本部の会議室で、「民放労連女性協拡大常任委員会」が一八名の出席者により開催されました。

まず、各地連より、安倍政権下における取材規制の権利及び記者の取材する権利、報道機関が担う「伝える」役割について、国連人権理事會の特別報告者の「日本の記者クラブ制度のもとで



女性協議会

は、マスコミは政府が描くストーリーを発信しがちとなる」との指摘も交えて、一時間半近くに渡り、エヌルギッシュに語っていただきました。

最後に、6月22日(土)23日(日)に北海道で開催される「全国女性のつどい」

は、マスコミは政府が描くストーリーを発信しがちとなる」との指摘も交えて、一時間半近くに渡り、エヌルギッシュに語っていただきました。

最後に、6月22日(土)23日(日)に北海道で開催される「全国女性のつどい」は、マスコミは政府が描くストーリーを発信しがちとなる」との指摘も交えて、一時間半近くに渡り、エヌルギッシュに語っていただきました。

●女性協 URL  
<http://www.minpororen.jp/women/index.html>

## 九州地連女性協 春を呼ぶ女性のつどい2019

3月2日(土)、アクロス福岡にて「春を呼ぶ女性のつどい」を開催した。

今回は一〇単組から二三名が参加。「結婚・出産はまだ先だが、勉強していきたい」という20代の若手社員から、家事・育児と仕事を両立するママさん社員まで幅広い年齢層が集まり、ざつくばらんに日頃の悩みや課題について話し合つた。

業務量が増大する中で育児時短をとるのはしのびない

い、「女性の採用が少なく、ロールモデルが見つからず将來像が描きにくい」という意見が出た。若手社員からは「職場がギリギリの人數なので結婚・出産のタイミングなど気を遣うべきかも」という声も聞かれ、改めて「どんなライフスタイルでも、自分らしく働くことが出来る環境の整備」が急務であると痛感した。

講演会には、福岡市で五人の男の子を育てる人気インスタグラマー内田八重さんにお越し頂き、仕事と家事・育児・趣味を両立させるコツや、最近制作された、虐待防止を訴える絵本に込めた想い、メディアに期待すること



望月衣塑子記者

単組報告ではNBC労組から「2020年目標で賃金制度の変更を提示され、人によっては生涯賃金が約二〇〇〇万円減ってしまふ」という報告があった。その他目立ったのは、「働き方改革」が目前に迫る中、「逼迫した人員の中、どう守させるのか」という課題だ。業務棚卸しやタイムマネジメント改革など、ドラッグに舵を切る会社も複数ある中、女性ならではの悩みとして「個人の責任・

1、内田八重さんにお越し頂き、仕事と家事・育児・趣味を両立させるコツや、最近制作された、虐待防止を訴える絵本に込めた想い、メディアに期待すること

と、などのお話を伺った。い、気にかけてあげると「身近で虐待死が起き、何か出来ることは無かつたかずつと感じになっていた」という内田さん。「孤立させない」「ほんの少しでもいい、気にしてほしい」という温かな言葉が印象的だった。

日常業務が複雑化・増大していく中で、多くの人が「隣人を思いやる余裕」を

無くしてはいないだろうか。みんなのために、がひいては自分のためになる。各省の念も込め、今一度「組合活動」の原点に立ち返りたい。